

三重県人権センター 図書室 新着情報

第3号
2025年発行



『ダーリンはネトウヨ』
韓国入留学生の私が日本人とつきあったら
出版: 明石書店
著、翻訳: クー・ジャイン
翻訳: 金みんじょん
解説: Moment Joon
期待を胸に日本で留学生生活を始めた韓国人のうーちゃん。サークルで出会った日本人の先輩いっしーと付き合うことになった。付き合って一ヶ月、いっしーが「きれいな日本語」を喋ってと言ってきたのだけど…積み重なるモヤモヤの先にしたうーちゃんのとった選択とは？

『円かなる大地』

出版社: 講談社
著: 武川佑

時は戦国、北の大地。謎多きアイヌの壮年・シラウキが人喰いクマの襲撃から助けた少女はなんと、蠣崎氏当主の娘・稲穂だった。礼として居城に招かれるが、それが思わぬ和人とアイヌの戦の引き金を引いてしまう。稲穂は己の無知が招いた惨状を目の当たりにして、和陸には自ら打って出ることを決意する。



『読みなおしの同和行政史』



『読みなおしの同和行政史』
出版社: 解放出版社
著: 金井宏司

戦後の同和行政に関する特別措置法の時代は、2002年3月まで33年間続いたが、これがその後の部落のあり様や部落解放運動に与えた影響は計り知れない。半世紀を經過して、同和对策事業特別措置法がどのような議論や過程を経て成立したのか振り返る。

『学校と日本社会と「休むこと」』
「不登校問題」から「働き方改革」まで
出版: 東京大学出版会
著: 保坂亨

学校に行かないことが不登校として「問題」だと言われるのはなぜか。身体を壊しても打ち込んだ部活動が「美しい」のはどうしてか。多年にわたり教育相談に従事してきた著者がみた日本社会、はなはだしくは過労死にもいたる「皆勤」の空気と、それに囲まれた現代学校の姿を浮き彫りにする。



三重県人権センター図書室

Tel. 059-233-5537

開室時間 9:00～17:00

休室日 月曜日(祝日は除く)

祝日の翌日



三重県人権センター
図書室ホームページ



『Shrink~精神科医ヨワイ~1~3巻』
出版: 集英社 著: 月子 原著: 七海仁
精神科医・弱井幸之助が、日本の精神医療が抱える問題に向き合い、人々の心の影に光を照らす!

漫画

『きのう何食べた? 23巻』

出版: 講談社 著: よしながふみ
2DK男2人暮らし 食費は月4万円也(昼食費別)
これは、箕史朗(弁護士)と矢吹賢三(美容師)の「食生活」をめぐる物語です。



『同級生は外国人!? 多文化共生を考えよう』
①「どうしてルールが守れないの?」
フィリピン人と日本人のダブル・ユウトの場合ほか
出版: 汐文社 監修: 吉富 志津代
超マイペースでびっくり? 見た目は外国人、中身は日本人? 外国につながりを持つ子たちは、その文化や背景もいろいろ。日本の子目から見たストーリーを通して、異なる文化を持つ相手を尊重する大切さを学びます。

絵本

『へいわとせんそう』

出版: ブロンズ新社
著: たにかわしゅんたろう イラスト: Noritake
くらべてみると、みえてくる。「へいわのボク」と「せんそうのボク」では、なにが変わるのだろう。同じ人や物や場所を見聞きごとにくらべると、平和と戦争のちがいがみえてくる。これまでになかった平和絵本!

へいわとせんそう
たにかわしゅんたろう ぶん Noritake え

